

▼個人調査

設問No.	カテゴリ	設問項目	回答必須・任意	回答分岐条件	対象外条件	排他処理	設問文	回答形式	選択肢
		居住地	必須				あなたのお住いの都道府県をお答えください	SA	(47都道府県・省略)
		年齢	必須		19歳以下60歳		あなたの年齢をお答えください。	FA (整数)	[ ] 歳
SC1		職業	必須		1,7-13 除外		あなたの職業をお答えください。	SA	1. 会社経営者・役員クラス 2. 会社員 (本部長・事業部長クラス) 3. 会社員 (部長・課長クラス) 4. 会社員 (一般社員) 5. 会社員 (契約社員/派遣社員) 6. フリーランス 7. 自営業 8. 公務員 9. パート/アルバイト 10. 主婦・主夫 11. 学生 12. 無職 13. その他
SC2		業種	必須	SC1=2, 3,4,5 (フリーランス対象外)			あなたの所属企業の業種は以下のうちどれに該当しますか。複数所属している方は、主な所属企業についてお答えください。	SA	1. 受託開発ソフトウェア業 2. 組込みソフトウェア業 3. パッケージソフトウェア業 4. 情報処理サービス業 5. 情報提供サービス業 6. その他情報通信業 7. 農林漁業 8. 鉱業、採石業、砂利採取業 9. 建設業 10. 製造業 11. 運輸業、郵便業 12. 卸売業、小売業 13. 金融業、保険業 14. 不動産業、物品賃貸業 15. 学術研究、専門・技術サービス業 16. 宿泊業、飲食サービス業 17. 生活関連サービス業、娯楽業 18. 医療、福祉 19. 電気・ガス・熱供給・水道業 20. 教育・学習支援業 21. 複合サービス業 22. サービス業 (他に分類されないもの) 23. その他
SC3		現業務の内容 (システム、ビジネス、IT 活用しない)	必須	SC1=2-6	3は除外		現業務は以下のうちどれに該当しますか。☑ 注釈: 現業務とは、あなたの主要な職責で、50%以上の時間を使っているものを指します。	SA	1. システム系(情報システム部門の業務のように、ITを専門とする業務) 2. ビジネス系(ITに関してはユーザーであり、ITを活用して事業創造や製品サービスの付加価値向上、業務のQCD向上等をおこなう業務) 3. ITを活用しない業務
SC4	(2. 先端領域への関わり)	現業務で先端技術・領域に関与しているか	必須	SQ3=1-2		11	現業務で主に関わる技術や領域のうち、以下に該当するものがありますか。 ※現業務とは、あなたの主要な職責で、50%以上の時間を使っているものを指します。	MA	1. データサイエンス 2. AI/人工知能 3. IoT 4. デジタルビジネス/X-Tech 5. アジャイル開発/DevOps 6. AR/VR 7. ブロックチェーン 8. 自動運転/MaaS 9. 5G 10. 上記以外の先端的な技術や領域 [ ] 11. 上記のどれにも該当しない
SC5	(4. 学び・学び直しに対する意識・取り組み)	学びの成果・進捗	必須	SC1=2-6			直近1年を振り返って、ご自身の持っているITスキルの上向き、新たなITスキル獲得はできましたか。以下のうち該当するものを選択してください。	SA	1. 元々持っているスキルのレベルが向上した 2. 新たなスキルを獲得できた 3. 上記1,2どちらもできた 4. 上記1,2どちらもできていない
Q1		従業員規模	必須	SC1=2, 3,4,5 (フリーランス対象外)			あなたの所属企業の人員規模 (パート・アルバイトを除く) は以下のうちどれに該当しますか。 複数所属している方は、主な所属企業についてお答えください。	SA	1. 100名以下 2. 101名以上200名以下 3. 201名以上300名以下 4. 301名以上1000名以下 5. 1001名以上
Q2	2. 先端領域への関わり	(関与している場合) 現業務での以下の技術領域との関わり (研究開発、・・・、システム開発や社会実装)	任意	SC4=1~10			現業務において、以下の技術領域とどのように関わっていますか。 ※現業務とは、あなたの主要な職責で、50%以上の時間を使っているものを指します。 ・データサイエンス ・AI/人工知能 ・IoT ・デジタルビジネス/X-Tech ・アジャイル開発/DevOps ・AR/VR ・ブロックチェーン ・自動運転/MaaS ・5G ・上記以外の先端的な技術や領域	SA	1. 上記技術を改良・発展させるための研究開発 2. ビジネスの企画・開発・推進 3. 業務プロセスの改革や改善 4. 上記技術を利用した開発チームのマネジメント 5. 上記技術を利用したシステム開発や社会実装 6. いずれにも該当しない
Q3		以前に先端技術・領域に関係ない業務に携わっていたか	必須	SC4=1~10			あなたは、以前に、以下の技術や領域と関係ない業務に携わっていましたか？携わっていた方は、「はい」を選択し、いつから以下の関連業務に携わるようになったかを西暦でお答えください。 最 大: ※以下の関連業務に最初に携わられた年についてご回答ください。 2022 就職以来ずっと以下の技術や領域に関する業務に携わっている場合は「いいえ」とお答えください。 最 小: ・データサイエンス 1978 ・AI/人工知能 (202 ・IoT 2年に ・デジタルビジネス/X-Tech 60歳 ・アジャイル開発/DevOps を迎え ・AR/VR る方 ・ブロックチェーン が、中 ・自動運転/MaaS 学 校 を ・5G 卒 業 し ・上記以外の先端的な技術や領域	SA	1.はい 西暦[ ]年 2.いいえ☑
Q4		現業務での主な役割(デジタル事業に対応する人材)	任意				現業務でのあなたの主な役割は以下のうちどれに該当しますか。 注釈: 現業務とは、あなたの主要な職責で、50%以上の時間を使っているものを指します。	SA	1. プロダクトマネジャー(ビジネス全体の管理) 2. ビジネスデザイナー(ITによるビジネスの企画・推進) 3. テックリード(エンジニアリングマネジャー、アーキテクト) 4. データサイエンティスト 5. 先端技術エンジニア 6. UI/UXデザイナー 7. エンジニアプログラマー 8. IT資産の保守運用(NW、DB、既存アプリ、ハードウェア等) 9. ITサービス(技術サポート、ヘルプデスク等) 10. その他
Q5		先端技術・領域に転換したきっかけは何か	必須	Q3=1			初めて以下の技術や領域の業務に変わった時のきっかけは何でしたか、お答えください。 ※フリーランスの方は、以前所属していた組織や現在の契約先に置き換えてご回答ください。 ・データサイエンス ・AI/人工知能 ・IoT ・デジタルビジネス/X-Tech ・アジャイル開発/DevOps ・AR/VR ・ブロックチェーン ・自動運転/MaaS ・5G ・上記以外の先端的な技術や領域	SA	1. 会社からの異動命令や組織改編 2. 自発的に異動や転職を希望した

設問No.	カテゴリ	設問項目	回答必須・任意	回答分岐条件	対象外条件	排除処理	設問文	回答形式	選択肢
Q6		先端技術/領域への転換の意向	必須	SC4=11			下記領域の業務への転換について、ご自身の考えに近いものは以下のうちどれに該当しますか。 ・データサイエンス ・AI/人工知能 ・IoT ・デジタルビジネス/X-Tech ・アジャイル開発/DevOps ・AR/VR ・ブロックチェーン ・自動運転/MaaS ・5G ・上記以外の先端的な技術や領域	SA	1. 上記領域の学習や仕事をしたい 2. 上記領域には興味がない
Q7		先端領域への転換で助けになるもの	任意	q6=1			下記領域の業務に転換する際に、あなたにとって特に助けになると感じるものは以下のうちどれに該当しますか。 ・データサイエンス ・AI/人工知能 ・IoT ・デジタルビジネス/X-Tech ・アジャイル開発/DevOps ・AR/VR ・ブロックチェーン ・自動運転/MaaS ・5G ・上記以外の先端的な技術や領域	MA	1. 給与（契約単価）の見直しや業績インセンティブ等の報酬上のメリット 2. 今よりも柔軟な勤務体系(勤務時間、勤務日、勤務場所等) 3. 勤務先（契約先）による学び直しの支援(教育研修、OJT、スクール等) 4. 評価や賞与査定（契約更新）で移行期間を考慮してくれること 5. その先のキャリア可能性の提示 6. 国や公的機関による学び直しの支援(教育研修、OJT、スクール等) 7. その他 [ ]
Q8	3. キャリア形成の意識・取り組み	キャリア判断の基準	任意				ご自身のキャリアを判断する基準として、比重が高いものは以下のうちどちらですか。	SA	1. 自身のゴールや考え 2. 自身以外からの助言や指導
Q9		キャリアの志向性	必須				あなたのキャリア観についてお尋ねします。当面と将来におけるあなた自身のキャリア形成の考えについて、以下の選択肢から最も当てはまるものをお選びください。	SAMX	【表頭】 A.当面 B.将来  【表側】 1. これまで担ってきた職務・役割をそのまま担っていきたい 2. これまで担ってきた職務・役割よりも高いレベルだったり、これまでの職務・役割に近い別の職務・役割を担いたい 3. これまで担ってきた職務・役割のレベルを下げたい・より限定的にしたい 4. これまで担ってきた職務・役割に囚われず、大きくキャリアチェンジしたい 5. 特になし
Q10		キャリアサポートのニーズ・課題	任意	選択肢のセレクト条件 選択肢1~6:【SC1】で2-5と答えた方 選択肢7,8:【SC1】で6と答えた方	14		キャリアについて、あなたの悩みと合致すると思うものを選んでください。	MA	【回答対象：会社員のみ】 1. キャリア面談など、定期的な上司とキャリアについて相談できる場がない 2. 1on1など、日常的にキャリアについて相談できる場がない 3. 上司以外でキャリアについて相談できる存在がない 4. キャリアアップのための計画的な配置・育成がされていない 5. 異動等について自身の意向が反映される仕組みがない 6. キャリアパスの一端としての転職のハードルが高い 【回答対象：フリーランスのみ】 7. キャリア面談など、定期的なキャリアについて相談できる人や場がない 8. 1on1など、日常的にキャリアについて相談できる人や場がない 【回答対象：会社員・フリーランス共通】 9. 自身のキャリアについてあまり考えたことがなく、よく分からない 10. キャリアパスが不明確 11. 参考となるロールモデルがない 12. キャリア開発にお金がかかる 13. その他 [ ] 14. 特に悩みはない
Q11		活躍し続けるための新しいスキル習得の必要性認識	必須				あなたは、これからも活躍し続けるためには新しいスキル習得が必要だと思いますか。	SA	1. そう思う 2. どちらかというと思う 3. どちらとも思えない 4. どちらかというと思う 5. そう思わない
Q12		スキルや学びを見直すきっかけとなった行動やタイミング	必須	SC5=1~3(アップスキル・リススキルできた人) 選択肢セレクト条件 選択肢【1,2】: 【SC1】			直近1年でスキル向上や新たなスキル獲得できた方にお尋ねします。それらの成果を出す以前に、自身のスキルや学びを見直す必要性を感じたきっかけとなった行動やタイミングは、以下のどれに該当しますか。	MA	1. 配置転換が行われた 2. 異動希望が通った 3. 現業務の社会的意義・社会貢献性を感じた 4. 業務・プロジェクトがひと段落した 5. 自身のキャリア形成に関する面談を行った 6. 自身の能力開発に関する面談を行った 7. キャリア形成に関する研修を受講した 8. ロールモデルが見つかった 9. 学びに対する金銭的補助が出た 10. 自身の働きぶりに対する評価を受けた 11. 社外のコミュニティや勉強会で気づきを得た 12. コンペティション (Kaggle等) に参加した 13. その他 [ ]
Q13	4. 学び・学び直しに対する意識・取り組み	新たに学ぶ領域を選ぶ基準	任意				自身の性格や行動パターンについてお尋ねします。あなたが新たに学ぶ領域を選ぶ基準は、以下のうちどれに該当しますか。(いくつでも)	MA	1. 現業務の課題解決に役立つこと 2. 中長期的キャリアやゴールに必要なこと 3. 会社などから必須テーマとして学習を指示されたこと 4. 必ずしも自身の業務やキャリアとは関係ないが、世の中で話題になっているもの 5. 必ずしも自身の業務やキャリアとは関係ないが、将来的にニーズが高まると思われるもの 6. その他 [ ]
Q14		今後身につけるべき重要度が高いと思うスキル1	任意				今後身につけるべき技術や領域のスキルとして重要度が高いと思うものは以下のうちのどれに該当しますか。(部長・課長相当の方は部下に付けて欲しいスキルを選択ください。)	MA	1. データサイエンス 2. AI/人工知能 3. IoT 4. デジタルビジネス/X-Tech 5. アジャイル開発/DevOps 6. AR/VR 7. ブロックチェーン 8. 自動運転/MaaS 9. 5G 10. 上記以外の先端的な技術や領域 [ ] 11. その他 [ ]
Q15		今後身につけるべき重要度が高いと思うスキル2	任意				前問の技術や領域以外で、今後身につけるべき重要度が高いと思うスキルは以下のうちのどれに該当しますか。(部長・課長相当の方は部下に付けて欲しいスキルを選択ください) 【※STEAM: 科学 (Science) ・技術 (Technology) ・工学 (Engineering) ・芸術 (Art) ・数学 (Mathematics) 】	MA	1. 人、プロジェクトやタスクのマネジメントスキル 2. 業務関連のコミュニケーションスキル(ライティング、ファシリテーション、プレゼンテーション等) 3. 関連の業務知識(商品やサービスの特性、差別化、競合、プロセスやツール、規制その他) 4. デザイン思考なども活用したビジネス企画スキル 5. 数学や芸術といったSTEAM領域※や英語 6. その他 [ ]
Q16		リススキル・アップスキルにあたり障害となるもの	必須		9		スキル向上や新たなスキル獲得のための学びのネックとなったものを3つまで選んでください。	MA (3つまで)	1. 学びの動機づけがない 2. 学びの機会がない 3. 学んだことを実践する機会がない 4. 学んだことを実践した後の評価・FBがない 5. 周囲に学びを後押しする文化・雰囲気がない 6. 何をどのように学んだら良いかわからない 7. 学びの時間的負担が大きい 8. 学びの経済的負担が大きい 9. ネットになったものはない
Q17		アップスキル・リススキルに有効だと思う学びの方法	任意			その他の自由回答 必須回答	(1) すでに獲得済みのスキルをさらに向上させるにあたって、あなたにとって特に有効だと思う方法についてお尋ねします。最も有効だと思う方法を3つまで選んでください。 (2) 現在は保有していない新たなスキルを獲得するにあたって、あなたにとって特に有効だと思う方法についてお尋ねします。最も有効だと思う方法を3つまで選んでください。	MAMX(3つまで)	【表頭】 (1) スキル向上に有効 (2) 新たなスキル獲得に有効 【表側】 <見出し：越境学習> 1. 社内兼業・副業における経験 2. 社外兼業・副業における経験 3. 留職（現在の組織を離れ別の組織で働くこと）での経験 4. インターンシップやトレーニングにおける経験 <見出し：コミュニティ参加> 5. 組織内でのナレッジ共有、勉強会やコミュニティ活動等への参加 6. 組織外の勉強会やコミュニティ活動等への参加 7. コンペティション(kaggle等)への参加 <見出し：コンテンツ学習> 8. 書籍・雑誌による学習 9. web上での情報収集 10. オンライン講座等による学習 11. 有償の研修やセミナー等への参加 12. 資格取得のための勉強 13. その他 [ ]

設問No.	カテゴリ	設問項目	回答必須・任意	回答分岐条件	対象外条件	排他処理	設問文	回答形式	選択肢
Q18		スキルレベル向上や先端領域のスキル獲得によって、どのような変化があったか	任意	SC5=1~3(アップスキル・リストスキルできた人)		13	スキルの上や新たなスキル獲得により、どのようなメリットがありましたか。以下のうち該当するものを全てお選びください。	MA	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 年収が増えた</li> <li>2. 職位が高くなった</li> <li>3. 求人オファー数が増えた</li> <li>4. 任せられる業務が高度化した</li> <li>5. 社会的ステータス(社会的認知度)が上がった</li> <li>6. 同じスキルを持った仲間やコミュニティーが広がった</li> <li>7. 労働環境が改善された</li> <li>8. 自身の業務に対してモチベーションが上がった</li> <li>9. 業務に対する自信が付いた</li> <li>10. 業務のやりがいが増えた</li> <li>11. さらなるスキル向上やスキル獲得に向けて学びたいと思うようになった</li> <li>12. その他 [ ]</li> <li>13. メリットはない</li> </ul>
Q19	5. 自身の市場価値に対する意識・取り	人材市場における自身の競争力	必須				ご自身の現在のスキルレベルは人材市場においてどの程度競争力があると思いますか。ご自身のお考えに最も近いものを以下から選択してください。	SA	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 十分な競争力がある</li> <li>2. 競争力は高くない</li> <li>3. 分からない</li> </ul>
Q20		人材市場における自身のスキルレベルの見極め方法	任意			7を選択した場合、ほかの選択肢は選択不可	ご自身の人材市場におけるスキルレベルを見極める際に気にかけていることは以下のうちどれに該当しますか。3つまで選択ください。	MA (3つまで)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 社内基準や公的なスキル標準を用い、自身のスキルレベルを把握している</li> <li>2. 資格試験や各種Certificationを取得することで、自身のスキルレベルを把握している</li> <li>3. 求人募集や委託業務募集の要件等を見て、自身のスキルレベルと比較している</li> <li>4. ビジネス書や専門誌等を見て、自身のスキルレベルと比較している</li> <li>5. 社内外の知人の状況と、自身のスキルレベルと比較している</li> <li>6. 関わったプロジェクト・業務での評価・FBや定期考課などを通じ、自身のスキルレベルを把握している</li> <li>7. 自身のスキルレベルの水準はわからない</li> <li>8. その他 [ ]</li> </ul>
Q21		中途採用にあたって重視されると考える事項 (3つ)	任意				人材市場において、転職の際に求人企業側から特に重視されている事項は何だと思えますか。以下のうち3つまでお答えください。	MA (3つまで)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 保有する技術やITスキルの種類・水準</li> <li>2. ビジネス知識・スキル(ITを活用したビジネスモデルや事業の理解)</li> <li>3. コミュニケーションなどIT・ビジネス関連以外のスキル</li> <li>4. 直接関係するプロジェクトの内容と担った役割(実績)</li> <li>5. プロジェクトやタスクの管理経験</li> <li>6. リーダーとしてのマネジメント経験</li> <li>7. (転職先・異動先の)職務や仕事への資質・パーソナリティ・適性</li> <li>8. 自身のやりたい仕事やキャリア目標</li> <li>9. その他 [ ]</li> </ul>
Q22		中途採用の際に自身の能力や価値を把握するのに参考になっているもの	必須			その他 [ ] の自由回答欄は必須回答	以下の各ツールについて、自身のスキルレベルや市場価値を測る目的での利用状況と実際に役立っているかどうかをお答えください。	SAMX	<p>【表頭】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A. 役立っている</li> <li>B. 役立っていない</li> <li>C. 使っていない</li> </ul> <p>【表側】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. Facebook, TwitterなどのSNS</li> <li>2. LinkedInなどの個人プロフィール型のSNS</li> <li>3. 転職ポータル(リクナビ等)</li> <li>4. スカウト型の転職サービス(ズブリーチ等)</li> <li>5. ITエンジニアのスキルチェックツール</li> <li>6. GitHub・Kaggle等のプラットフォーム</li> <li>7. 公式のスキル標準(ITスキル標準等)</li> <li>8. 資格試験・各種Certification(オープンバッジ、ITベンダー発行のもの含む)</li> <li>9. その他 (※上記以外のツールを利用している場合は、空欄へツール名をご記入頂き、ご回答ください) [ ]</li> <li>10. その他</li> </ul>
Q23	6. 組織・現職に対する意識	将来の組織への所属の仕方に対する意向	任意				将来の組織への所属の仕方として、ご自身の考えに最も近いものは以下のうちどれですか。	SA	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 組織に所属せず働きたい</li> <li>2. 組織に所属するが、目的やキャリアに応じ適時適切に組織を変えることは厭わない</li> <li>3. 特定の組織に所属し続けたい</li> </ul>
Q24		組織・企業推奨度	任意				あなたの親しい知人や友人・親戚から、あなたの職場で働きたいと言われたとき、推奨する度合いはどれくらいでしょうか。0~10点でお知らせください。 ※同じ職場で親しい関係の人が働く事に対する抵抗感や違和感がある方はそれを考慮せず、あくまで例え話として自身の職場をどの程度勧めるに値するかをお答えください。 ※フリーランスの方は、最近最も従事している仕事内容や仕事環境に対する推奨度としてお答えください。 ※複数勤務している方は、主な勤務先についてお答えください。	SA	<p>【表頭】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A. 推奨度合い</li> </ul> <p>【表側】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 0点 (全く勧めようとは思わない)</li> <li>2. 1点</li> <li>3. 2点</li> <li>4. 3点</li> <li>5. 4点</li> <li>6. 5点</li> <li>7. 6点</li> <li>8. 7点</li> <li>9. 8点</li> <li>10. 9点</li> <li>11. 10点 (非常に勧めたいと思う)</li> </ul>
Q25		現職への適合度に関する認識	必須				現在の職務や業務は、ご自身にどの程度合っていると思いますか？ 適職度合いについて最も近い数値を選択してください。 ※2つ以上の企業に勤めている方は、主な所属企業での職務・業務についてお答えください。 ※フリーランスの方は、現在最も関わっている職務・業務についてお答えください。	SA	<p>【表頭】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A. 適職度合い</li> </ul> <p>【表側】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 0点 (自身に全く適していない)</li> <li>2. 1点</li> <li>3. 2点</li> <li>4. 3点</li> <li>5. 4点</li> <li>6. 5点</li> <li>7. 6点</li> <li>8. 7点</li> <li>9. 8点</li> <li>10. 9点</li> <li>11. 10点 (自身に最も適している)</li> </ul>
Q26		現職への適合度の評価基準 (3つ)	任意			選択肢ランダムイズ：選択肢1-14	前問において現職との適合度を評価するに当たり、重視した要素は何ですか。以下の選択肢の中から最も当てはまるものを3つまで選んでください。	MA (3つまで)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 保有スキルと報酬水準が見合っているか</li> <li>2. 保有スキルが業務に生かされているか</li> <li>3. 働きぶりが適正に評価されているか</li> <li>4. 自身に見合った職位に付けているか</li> <li>5. 業務を通じてやりがいや面白さを感じているか</li> <li>6. 業務を通じて成長できているか</li> <li>7. 業務を通じて顧客や社会へ貢献できているか</li> <li>8. やってみたいIT・デジタル領域の業務やそれに準じるスキルを活かした業務を担えているか</li> <li>9. 会社や所属組織のビジョンに共感しているか</li> <li>10. 組織内にロールモデルがいるか</li> <li>11. 組織内に学び合える仲間がいるか</li> <li>12. 業務遂行に裁量があるか (仕事のやり方や進め方を決められるか)</li> <li>13. プロジェクトや業務選択の自由度があるか</li> <li>14. 時間や場所に関わらず自由に働けるか</li> <li>15. その他 [ ]</li> </ul>
Q27		ミドルマネージャーとの対話頻度	任意	SC1=2, 3, 4, 5 (フリーランス対象外)			自身のキャリアやスキルに関して、上司(部長・課長クラス)とどの頻度で対話しますか。最も当てはまるものを選択してください。 ※ご自身が部長・課長クラスの方は、管理している社員1人当たりの対話頻度として選択ください	SA	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 機会がない</li> <li>2. 年1回程度</li> <li>3. 半期に1回程度</li> <li>4. 四半期に1回程度</li> <li>5. 四半期に1回より多い</li> </ul>
Q28		キャリア形成支援に関するミドルマネージャーの役割・課題	任意	SC1=2, 3, 4, 5 (フリーランス対象外)			あなたの会社のミドルマネージャー(部長・課長相当)の役割と実態についてお尋ねします。あなたの上司をイメージした時に、自身のキャリア形成に関して期待している役割とその実態について以下のうちから該当するものをお答えください。 ※ご自身が部長・課長相当の役割を果たしている方は、自己評価として選択ください	SAMX	<p>【表頭】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>役割として期待しており(期待されており)、実際にその役割を果たしている</li> <li>役割として期待しているが(期待されているが)、実際にはその役割を果たしていない</li> <li>役割として期待していない(期待されていない)</li> </ul> <p>【表側】</p> <p>&lt;見出し：ラーニングカルチャー醸成に向けた組織運営&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. ミドルマネージャー自身の学びの姿勢</li> <li>2. OFF-JTの動機づけ</li> <li>3. 社外研修参加の企画</li> <li>4. 社外コミュニティー参加の企画</li> </ul> <p>&lt;見出し：業務に関する部下のマネジメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5. ストレッチ目標の付与</li> <li>6. OJTの機会創出(先端領域に関わる業務の創出)</li> <li>7. 本人の志向と合ったプロジェクトアサイン</li> <li>8. OJTでの指導</li> <li>9. 業務の相談を目的とした1on1</li> <li>10. キャリア相談を目的とした1on1</li> <li>11. 日常的なコミュニケーションを目的とした1on1</li> </ul>
Q29	7. 転職に対する意識・実態	転職に関する考え方	必須	SC1=2, 3, 4, 5 (フリーランス対象外)			あなたの転職に関する考え方は、以下うちどれに該当しますか。	SA	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. より良い条件の仕事を探求して、積極的にやりたい</li> <li>2. より良い条件の仕事が見つければ、考えても良い</li> <li>3. できる限りしたくないが、必要があればやむを得ない</li> <li>4. 絶対にしたくない</li> </ul>

設問No.	カテゴリ	設問項目	回答必須・任意	回答分岐条件	対象外条件	排他処理	設問文	回答形式	選択肢
Q30		ここ2年で転職したか	必須	SC1=2,3,4,5			ここ2年で転職しましたか。以下のうちから該当するものをお答えください。	SA	1. 転職した 2. ここ2年では転職していない
Q31		離職の理由で多いもの	任意	Q30=1 (ここ2年の転職者)			転職の理由は以下のうちどれに該当しますか。	MA	1. 先端的な仕事ができなかったから 2. クリエイティブな仕事ができなかったから 3. 自身のやりたい仕事ができなかったから 4. 労働時間が長かったから 5. 給与を上げたかったから 6. 上司に不満があったから 7. 上司以外の人間関係に不満があったから 8. 勤務先の企業の社風に合わなかったから 9. もっと自由な働き方を実現したかったから 10. もっとスキルアップしたかったから 11. その他 [ ]
Q32		流動実態 (転職した会社員の転職)	任意	Q30=1 (ここ2年の転職者)			ここ2年で転職した方にお尋ねします。転職前に勤めていた企業などは、以下のどれに該当しますか。 ※複数回転職している方は、最後に退職した企業についてお答えください。	SA	1. IT企業 (ベンチャー・スタートアップを含まない) <input type="checkbox"/> 2. 事業会社のIT部門 (ベンチャー・スタートアップを含まない) 3. 事業会社の非IT部門 (ベンチャー・スタートアップを含まない) 4. ベンチャー、スタートアップ企業 5. 特定技術を持ったフリーランス (個人事業主など) 6. その他 [ ]
Q33		流動実態 (転職した会社員の現職)	任意	Q30=1 (ここ2年の転職者) 選択肢のセレクト条件 選択肢1: SC2=1~6 (IT企業) 選択肢			ここ2年で転職した方にお尋ねします。現職の企業は、以下のどれに該当しますか。	SA	1. IT企業 (ベンチャー・スタートアップを含まない) <input type="checkbox"/> 2. 事業会社のIT部門 (ベンチャー・スタートアップを含まない) 3. 事業会社の非IT部門 (ベンチャー・スタートアップを含まない) 4. ベンチャー、スタートアップ企業 5. その他 [ ]
Q34	8. フリーランス独自設問	フリーランス転向時期	必須	SC1=6 (フリー)			フリーランスに転向した時期はいつですか。以下のうちから該当するものをお答えください。	SA	1. 2年未満 2. 2年以上前
Q35		流動実態 (フリーランス転向前の企業)	任意	SC1=6 (フリーランスのみ対象)			フリーランスに転向する前に勤めていた企業についてお尋ねします。以下のどれに該当しますか。	SA	1. IT企業 (ベンチャー・スタートアップを含まない) <input type="checkbox"/> 2. 事業会社のIT部門 (ベンチャー・スタートアップを含まない) 3. 事業会社の非IT部門 (ベンチャー・スタートアップを含まない) 4. ベンチャー、スタートアップ企業 5. その他 [ ]
Q36		フリーランスの国外・国内の業務割合	任意	SC1=6 (フリーランスのみ対象)			フリーランスの方にお尋ねします。現在従事している案件のうち、海外企業案件の占める割合はどの程度ですか。その割合をお答えください。 ※海外企業案件とは、海外に拠点がある企業・法人等から委託を受けた業務・プロジェクトを指す。 例1. 日系企業のアメリカ支社から委託された案件：海外案件 例2. 外資系企業の日本法人から委託された案件：国内案件	FA (0~100を記入)	[ ] %